

2026 年 9 月 18 日 (No.sh0500)

サントリーホール開館 40 周年記念 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団特別公演 オペレッタ『こうもり』ハイライト(演奏会形式)



「ジルヴェスター・コンサート 2025」公演より

一年の締めくくりはサントリーホール開館 40 周年特別プログラムで！ 本場ウィーンの大みそかの風物詩『こうもり』ハイライト

サントリーホールは、「サントリーホール開館 40 周年記念 ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団特別公演 オペレッタ『こうもり』ハイライト(演奏会形式) — ウィーンの大みそか in サントリーホール —」を、2026 年 12 月 31 日(木)14:00 より大ホールにて開催します。

サントリーホールは、1992 年より毎年年末に 33 年にわたり、歴史あるウィーンのオペレッタの殿堂フォルクスオーパー(国民劇場)よりウィーン・フォルクスオーパー交響楽団と旬の歌手などを迎え、ウィーンゆかりの音楽をお届けする「ジルヴェスター・コンサート」を開催してきました。「ジルヴェスター」はドイツ語で大晦日を意味する「聖ジルヴェスターの日」に由来し、ヨーロッパ各地でコンサートが行われます。今回のジルヴェスター・コンサートは、サントリーホール開館 40 周年を祝した特別プログラムとして、ウィーンの大晦日には欠かすことのできないヨハン・シュトラウスⅡ世の名作オペレッタ『こうもり』から、名場面と名曲を厳選し、演奏会形式でお届けします。

指揮はサントリーホールの年末年始のコンサートでお馴染みの**グイド・マンクージ**。熟練のタクトでこの特別公演を盛り上げます。**アイゼンシュタイン(バリトン)**には、メトロポリタン歌劇場デビュー以来、ウィーンをはじめ欧米の主要歌劇場で活躍し、2022 年にオーストリアの「宮廷歌手」の称号を授与された**モルテン・フランク・ラーセン**がサントリーホールに初登場します。**ロザリンデ(ソプラノ)**には、ウィーン・フォルクスオーパーより「宮廷歌手」の称号を授与されている**クリスティアーネ・カイザー**が、昨年のジルヴェスターに続き再登場し、**アデーレ(ソプラノ)**には、2019/20 シーズン当時、フォルクスオーパーの最年少専属歌手となった**ローレン・アーカート**が、サントリーホールの年末年始に初登場します。**アルフレード(テノール)**には、サントリーホールの年末年始で 2 年ぶりの登場となる**ズザボル・ブリックナー**を迎えます。また、ウィーンで日本人初・東洋人初のカウンターテナーとして鮮烈なデビューを飾った**藤木大地**が、**オルロフスキー公爵(カウンターテナー)**として出演。**ファルケ(バリトン)**には、シカゴ・リリック歌劇場をはじめ欧米の歌劇場や音楽祭で活躍する**大西宇宙**が登場します。さらに**バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーン**が、美しい舞踏でステージを彩ります。

今年も販売するプレミアム・チケットでは、ブルーローズの専用ラウンジにて英国王室御用達のシャンパン「ローラン・ペリエ」を楽しむ、1 階前方の良席にて優雅に演奏会をご鑑賞いただけます。

※公演詳細はこちらからご覧ください。 https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20261231_M_2.html

サントリーホール開館 40 周年記念
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団特別公演
オペレッタ『こうもり』ハイライト (演奏会形式)
— ウィーンの大みそか in サントリーホール —
Suntory Hall 40th Anniversary
Symphonie-Orchester der Volksoper Wien Special Concert
Die Fledermaus Highlights (Concert Version) at Suntory Hall

【日時】 2026 年 12 月 31 日 (木) 14:00 開演 (13:20 開場 / 16:20 頃終演予定)
Thursday, December 31, 2026 at 14:00 (Doors open 13:20 / Estimated ending 16:20)

【会場】 サントリーホール 大ホール Suntory Hall, Main Hall

【出演】

アイゼンシュタイン / フランク : モルテン・フランク・ラーセン (バリトン)

Eisenstein/Frank: Morten Frank Larsen, Baritone

ロザリンデ : クリスティアーネ・カイザー (ソプラノ)

Rosalinde: Kristiane Kaiser, Soprano

アデーレ : ローレン・アーカート (ソプラノ)

Adele: Lauren Urquhart, Soprano

アルフレード : ズザボル・ブリックナー (テノール)

Alfred: Szabolcs Brickner, Tenor

オルロフスキー公爵 : 藤木大地 (カウンターテナー)

Prince Orlofsky: Daichi Fujiki, Countertenor

ファルケ : 大西宇宙 (バリトン)

Falke: Takaoki Onishi, Baritone

指揮 : グイド・マンクージ Guido Mancusi, Conductor

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 Symphonie-Orchester der Volksoper Wien

バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーン Ballett Ensemble SOVOP Wien

【曲目】

ヨハン・シュトラウス II 世 : オペレッタ『こうもり』ハイライト

Johann Strauss Jr.: Die Fledermaus, Highlights

序曲 Overture

第 1 幕より from Act 1

1. 「飛び去った愛しの小鳩ちゃん」 (アデーレ & アルフレード)
“Täubchen, das entflattert ist” (Adele and Alfred)
2. 「ああ 思ったようには行けないわ」 (ロザリンデ & アデーレ)
“Ach, ich darf nicht hin zu ihr” (Rosalinde and Adele)
3. 「行こうぜ 舞踏会へ」 (ファルケ & アイゼンシュタイン)
“Komm’ mit mir zum Souper” (Falke and Eisenstein)
4. 「こうして私は一人きり」 (ロザリンデ、アデーレ、アイゼンシュタイン)
“So muss allein ich bleiben” (Rosalinde, Adele and Eisenstein)
5. フィナーレ

- a. 「飲もう愛しい人 急いで」
“Trinke, Liebchen, trinke schnell”
- b. 「こんな遅くに 2 人きり」
“Mit mir so spät im tête à tête”
- c. 「素敵で大きな私の鳥小屋は」
“Mein schönes, großes Vogelhaus”

ワルツ『ウィーンの森の物語』作品 325
Geschichten aus dem Wienerwald Waltz, Op. 325

第 2 幕より from Act 2

- 6. 「お客を呼ぶのは大好きさ」(オルロフスキー公爵)
“Ich lade gern mir Gäste ein” (Orlofsky)
- 7.
 - a. 「さあ 紳士淑女の皆さん」
“Ach, meine Herrn und Damen”
 - b. 「私の侯爵様」
“Mein Herr Marquis”
- 8. 「何と上品な物腰」(時計の二重唱)(ロザリンデ&アイゼンシュタイン)
“Dieser Anstand, so manierlich” (Uhrenduett) (Rosaline and Eisenstein)
- 9. チャールダーシュ「故郷の響きが」(ロザリンデ)
Csárdás “Klänge der Heimat” (Rosalinde)
- 10. フィナーレ
 - a. 「ぶどうの炎が燃え盛る中で」(シャンパンの歌)
“Im Feuerstrom der Reben”
 - b. 「兄弟姉妹の皆さん」
“Brüderlein und Schwesterlein”
- 11. ポルカ・シュネル『雷鳴と電光』作品 324
Unter Donner und Blitz Polka schnell, Op. 324
- 12. 「もう充分愉しんだ！」(オルロフスキー公爵)
“Genug damit, genug!” (Orlofsky)

第 3 幕より from Act 3

幕間

Entreact

- 13. 「田舎娘を演じる時は」(アデーレ&フランク)
“Spiel ich die Unschuld vom Lande” (Adele and Frank)
- 14. 「怖いわ」(ロザリンデ、アルフレード、アイゼンシュタイン/プリント博士)
“Ich stehe voll Zagen” (Rosalinde, Alfred and Eisenstein-Dr. Blind)
- 15. フィナーレ「おお こうもりよ こうもりよ」
“O Fledermaus, o Fledermaus”

【主催】サントリーホール

【後援】オーストリア大使館／オーストリア文化フォーラム東京／オーストリア政府観光局

【チケット料金】

プレミアム・チケット（200名様限定）20,000円 S席 16,000円 A席 14,000円 B席 12,000円

【限定200名様！プレミアム・チケットのご案内】

シャンパン付、プレミアム・ラウンジ利用、S席1階席14列より前方席でのご鑑賞

ウィーンのジルヴェスターには欠かせない「シャンパン」をお楽しみいただける「プレミアム・チケット」（20,000円）を200名様限定で特別にご用意しました。

昨年好評の「プレミアム・チケット」を今年も販売いたします。シャンパンと共にプレミアム・ラウンジ（ブルーローズ）で優雅なひとときをお過ごしください。

■プレミアム・チケット特典

- ① 英国王室御用達シャンパン ローラン・ペリエ（1杯）付
- ② 専用プレミアム・ラウンジ（ブルーローズ）で優雅なひととき
- ③ S席良席（1階席14列より前方席）でのご鑑賞

■お申込み：

サントリーホール チケットセンター（WEB・電話・窓口）のみ取り扱い。

※プレミアム・チケットのご購入、ご利用は20歳以上の方に限らせていただきます。

※ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。

※プレミアム・チケットのeチケット取り扱いはございません。

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 2026年9月12日（土）10時～18日（金）

一般発売 2026年9月19日（土）10時～

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB suntoryhall.pia.jp（24時間受付）

※メンバーズ・クラブは要事前登録（会費無料・WEB会員は即日入会可）

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10:00～18:00、休館日、12/30～1/4を除く）

サントリーホール窓口（10:00～18:00、18時以降開演の公演開催日は開演時刻まで営業、休館日を除く）

※先行期間中は窓口での販売はいたしません。

チケットぴあ	t.pia.jp
イープラス	eplus.jp
ローソンチケット	l-tike.com

（ご注意）

- ・内容に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。公演の最新情報はホームページにて発表いたします。suntory.jp/HALL/
- ・就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

【プロフィール】

■アイゼンシュタイン／フランク：モルテン・フランク・ラーセン（バリトン）

Eisenstein/Frank: Morten Frank Larsen, Baritone

120以上のオペラ役をレパートリーに持つキャラクター・バリトン。メトロポリタン歌劇場でのデビュー以来、ドン・ジョヴァンニ、ヴォルフラム（タンホイザー）、ドン・ピサロ（フィデリオ）、ジェルモン（ラ・トラヴィアータ）、ファーニナル（ばらの騎士）、ジャンニ・スキッキなどで、ウィーンをはじめ、ベルリン・ドイツ・オペラ、デンマーク王立歌劇場、バイエルン州立歌劇場などへの客演でも、世界中で高く評価されている。優れたリート歌手としても知られ、エーバーハルト・ヴェヒター・メダルをはじめとする数々の賞を受賞し、2022年にはオーストリアの「宮廷歌手」の称号を授与された。

■ロザリンデ：クリスティアーネ・カイザー（ソプラノ） **Rosalinde: Kristiane Kaiser, Soprano**

クリスティアーネ・カイザーは、2004年よりウィーン・フォルクスオーパーで数々の主要役を歌い、その卓越した歌唱で高い評価を築いてきた。レパートリーは幅広く、ドンナ・アンナ（ドン・ジョヴァンニ）、コ

ンテッサ（フィガロの結婚）、フィオルディリージ（コジ・ファン・トゥッテ）、ヴィオレッタ（ラ・トラヴィアータ）、ミミ（ラ・ボエーム）、ジュリエッタ（ホフマン物語）、レオノーラ（イル・トロヴァトーレ）、ロザリンデ（こうもり）ほか多数出演。22年ウィーン・フォルクスオーパーより「宮廷歌手」の称号を授与されている。

■アデーレ：ローレン・アーカート（ソプラノ） **Adele: Lauren Urquhart, Soprano**

アメリカ出身。2018年に欧州に拠点を移し、2019/2020シーズンより、当時最年少のアンサンブル歌手として、ウィーン・フォルクスオーパーの専属歌手となった。これまでに、ニュルンベルク州立劇場でのドイツ・デビュー時を含め、新作の初演を多く行うとともに、ゾフィー（ばらの騎士）、ムゼッタ（ラ・ボエーム）など、またウィーン・フォルクスオーパーでは、2024/25シーズンにはスザンナ（フィガロの結婚）、アンナ・ライヒ（ウィンザーの陽気な女房たち）、アデーレ（こうもり）、ヴァランシエンヌ（メリー・ウィドウ）などを務めている。

■アルフレード：ズザボル・ブリックナー（テノール） **Alfred: Szabolcs Brickner, Tenor**

ブダペストのリスト音楽院で声楽とクラリネットの学位を取得。2004年フェルッチョ・タリアヴィーニ国際声楽コンクールで2位入賞、08年エリザベート王妃国際音楽コンクールで最優秀賞（クイーン・ファビオラ賞）受賞。バイエルン州立歌劇場、フランクフルト歌劇場、ハンガリー国立歌劇場などで有名オペラ作品の主要な役を演じる。また、パリ管弦楽団、ラ・プティット・バンド、ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団や、アダム・フィッシャー、ヴァレリー・ゲルギエフ、ニコラ・ルイゾッティ、クルト・マズア、ギュンター・ノイホルト、大野和士など世界的マエストロと共演している。

■オルロフスキー公爵：藤木大地（カウンターテナー） **Prince Orlofsky: Daichi Fujiki, Countertenor**

2017年、ウィーン国立歌劇場『メデア』で日本人・東洋人初のカウンターテナーとして鮮烈なデビューを果たし、現地メディアから絶賛を受けた。日本音楽コンクール史上初のカウンターテナー優勝者として注目され、欧州の歌劇場や国内主要オーケストラと共演。『夏の夜の夢』『リナルド』『こうもり』などのオペラで高い評価を得るほか、新作オペラの世界初演にも多数出演している。プロデューサー、教育者としても活躍し、横浜みなとみらいホール初代プロデューサーを務めた。東京藝術大学卒業、ウィーン国立音楽大学大学院修了。京都市立芸術大学専任講師、洗足学園音楽大学客員教授。宮崎県出身。第19回松方ホール音楽賞、第25回青山音楽賞青山賞受賞。

■ファルケ：大西宇宙（バリトン） **Falke: Takaoki Onishi, Baritone**

ジュリアード音楽院修了。シカゴ・リリック歌劇場にてデビュー。2019年に『エフゲニー・オネーギン』で日本オペラデビュー後、国内外の歌劇場で活躍。五島記念文化賞オペラ新人賞、日本製鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、ホテルオークラ音楽賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。CD『詩人の恋』（ピアノ：小林道夫）をBRAVO RECORDSよりリリース。公式ホームページ takaoki.com/

■指揮：グイド・マンクージ **Guido Mancusi, Conductor**

1998～2002年シェーンブルン宮殿室内管弦楽団首席指揮者、00～02年ウィーン・トーンキュンストラー管弦楽団副指揮者。ウィーン芸術週間、クラングボーゲン、ロンドン古楽コンソートなどに客演。ウィーン室内歌劇場、エアフルト歌劇場などでも指揮している。02年クラゲンフルト劇場の首席指揮者に就任。作曲家としても評価が高い。

■ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団 **Symphonie-Orchester der Volksoper Wien**

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団（SOVOP）は、オペレッタの殿堂「ウィーン・フォルクスオーパー」の歌劇場専属オーケストラ「ウィーン・フォルクスオーパー楽団協会」として1917年に設立。ウィーンゆかりの作曲家、シュトラウス一家、レハール、スッペなどのオペレッタ、ワルツ、ポルカは彼らの十八番であり、本拠地ウィーンの伝統と歴史を継承する正統派として聴衆を魅了し続けている。日本では、1994年以来東京・名古屋・大阪を中心にウィーンらしい演出とプログラムによる「ジルヴェスター・コンサート」「ニューイヤー・コンサート」を継続的に開催し、幅広い世代から親しまれている。

■バレエ・アンサンブル SOVOP ウィーン Ballett Ensemble SOVOP Wien

ウィンナ・ワルツの研究と継承、および典型的なウィンナ・ダンスの保護を目的としてウィーン・フォルクスオーパーを母体に結成されたバレエ団。今回も選りすぐりの2組のペアが、サントリーホールに登場し、エレガントな宮廷舞踏と、時にコミカルな演出で舞台を盛り上げてくれる。

以上

【報道関係の方のお問い合わせ】

サントリーホール広報部 03-3505-1002

【チケットのお申し込み・お問い合わせ】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB suntoryhall.pia.jp

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017 (10～18 時、休館日、12/30～1/4 を除く)